

株主の皆様へ



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて第98期(平成13年4月1日から平成14年3月31日まで)の営業概況の報告をご高覧いただくにあたりまして、ご挨拶申し上げます。

当社では、イメージングをグループの事業領域と位置づけ、広範囲にわたる製品及びサービスの提供を積極的に展開しています。それぞれの事業によって競合する企業と当社の置かれているポジションも違います。グローバル競争の激化や、デジタル・ネットワーク化に伴う市場構造の急速な変化に対応し、勝ち抜いていくためには、スピード経営をさらに推し進め、経営と執行の役割を明確にして企業価値の最大化に最も適した経営形態を採用する必要を強く感じております。

平成11年6月に社内カンパニー制を導入して以来、さまざまな角度から経営機構の検討を重ねてまいりました結果、平成15年4月を目途に、当社が営む全事業を分社し、当社は事業会社の株式を保有する持株会社へと移行する方針を決定しました。分社された事業会社は独立法人として明確な責任と権限を持って、事業

ごとに最適な運営でスピード経営の執行にあたります。

一方、当社は持株会社としてこれらの事業会社を統括するとともに、事業ポートフォリオに基づく戦略的意思決定を行う企業形態に生まれ変わる所存でございます。分社して独立する事業法人は以下の4つの事業会社と2つの共通機能会社を予定しております。

(1) コニカコンシューマーマーケティング(株)(仮称)

一般用及び業務用写真感光材料・関連機器、カメラ及び証明写真等の製造、販売

(2) コニカメディカル&グラフィック(株)(仮称)

医療・印刷用フィルム、処理機器等の製造、販売

(3) コニカオフィスドキュメント(株)(仮称)

複写機等の事務機器、関連消耗品等の製造、販売

(4) コニカオプト&EMテクノロジー(株)(仮称)

光学製品・関連機器及び電子材料等の製造、販売

(5) コニカ技術センター(株)(仮称)

研究開発の受託、新規技術の事業化推進及び知的財産の管理・運営サービス提供事業

(6) コニカシェアードサービス(株)(仮称)

各種経営支援、間接機能サービスの提供事業

こうした企業組織の大幅な改革を実行することで、各事業分野の競争力をさらに強化し、かつ他社との積極

的な提携も推し進め、より強固な収益基盤を擁する企業グループを目指したいと考えております。

平成14年度は、独立を予定する事業分野単位で擬似分社体制を試行し、この準備を進めるとともに仕組みのチェックを行ってまいります。

分社化・持株会社制への移行にあたりましては改めて臨時株主総会を開催し、株主の皆様のご承認をいただく予定でございます。

当期は、この分社化・持株会社制に備え、提携や再編などに対する戦略的自由度を確保すると同時に、連結と単体の純資産額を整合させ、透明度をさらにあげるために子会社株式の減損処理を実施しました。この処理は単体の損益及び純資産には影響を与えましたが、グループの連結決算上にはすでに織り込まれており、影響はありません。

株主の皆様におかれましては、尚一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

平成14年6月

代表取締役社長

岩居文雄